

経済建設委員会

大津町の
工業団地造成の状況は

中核工業団地

企業進出の状況は
◎ 企業の進出など情報はどのようにして収集しているのか。
▲ 戦略的企業誘致支援業務委託の中で新たな投資を検討する企業などと面談を行い、町の優位性などPRを行っている。
TSMC第2工場の稼働前にはサプライチェーンの企業も進出しておかないといけないと言われていた現状もあるので、企業誘致についても、引き続き情報収集していく。

工業団地造成による影響はないのか
◎ 杉水地区の工業団地整備において、地権者以外で、工業団地整備に不安を言われている人はいないのか。住民説明会で、「工業団地ができるのであれば、ここに住民がいた」と言われた人もいた。近隣小学校の保護者へも丁寧に説明していただきたい。
▲ 昨年実施した住民説明会で、通学路や住宅街を通り抜ける車が増えることを不安視する意見があった。昨年度は護国小のPTA会長とも意見交換を行い、安全対策についての意見を伺っている。今後も、住民説明会を実施しながら、しっかりと安全対策についても説明していく。



新工業団地建設予定地

文教厚生委員会

適切な運営と管理を

歴史文化伝承館の利用者は
◎ 年間の利用者数から考えると1日当たり10人程度であるがどのような利用があるのか。
▲ 利用者は年々増加傾向で、小中高の総合学習や、各種団体の講座、研修で需要が伸びている。現時点では、歴史文化の普及振興を他施設と統合することは難しい状況である。



歴史文化伝承館



体育館の2階におかれる備品

不要な備品は適切に対応を
◎ 児童生徒数増加のための机、いすの購入だが、児童生徒数の動向はどのような状況か。
また、不要になった備品は適切に処分を行うべきである。
▲ 小学生はすでに減少傾向であり、中学生は令和7年度がピークとなりその後減少傾向となる見込みである。
備品については、学校とも協議をおこない、期日を決め処分するなど、対応していきたい。

委員会レポート

総務



総務委員会・経済建設委員会・文教厚生委員会の3つの委員会があります。議員は必ずいずれかの委員会に属しています。本会議にて各委員会に委ねられた議案は委員によるさらに深い審議を経て、委員長が議会で報告します。

経済建設



文教厚生



総務常任委員会	総務課 総合政策課 財政課 防災交通課 人権推進課 住民課 環境保全課 税務課 会計課 議会事務局
経済建設常任委員会	農政課 商業観光課 企業振興課 都市計画課 建設課 下水道課 工業用水道課 農業委員会
文教厚生常任委員会	福祉課 子育て支援課 介護保険課 健康保険課 学校教育課 教育施設課 生涯学習課

総務委員会

人口増加に対応を



研修成果の報告など情報開示も重要

議員活動の「見える化」が課題
◎ 他の町議会では公務活動費の項目として「広報広聴費」が計上されている。議員個人の活動の「見える化」のための予算を示さなければいけません。特別報酬審議会は広報広聴について意見を出していたか。
▲ 議会より個人からのサイトに誘導するような2次元バーコードをつけ、個人の活動がわかるような仕組みづくりをしては、という意見があった。

建築資材の火災や漏電火災の対応は
◎ 先日、町営住宅敷地内で電線の火災があり地域の自治会が初期消火をされた。その後、町消防署で対応している。最近では開発行為が加速し工事をしている建屋の火災も心配だ。対応の状況は。
▲ 火災の場合、消防本部から町職員、消防団員へメール通報がある。それを受けた団員は団長指示として出動する。
火災通報連絡がない場合でも、団員が地域の中で火災を認識すれば団長の指示を待つことなく出動することとなっているので協力願う。



建設現場シート飛散による漏電火災